



牡蠣からとりだした＜医薬品＞カルシウム剤

MCカルシウム

＜カルシウム主薬製剤＞

【特 徴】

MCカルシウムは、吸収のよい天然のカキの殻（ボレイ）を使用したカルシウム剤です。カルシウム（Ca：40.08）として、1日量（3錠）中約700mgが含まれます。
また、カルシウムの吸収を助けるアミノ酸（L-リシン塩酸塩）と胆汁酸成分（ウルソデオキシコール酸）を配合しました。



使用上の注意

相談すること



- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
医師の治療を受けている人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹
消化器	食欲不振、胃のもたれ
- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
便秘
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【効能・効果】

- 次の場合の骨歯の発育促進：虚弱体質、腺病質*
- 妊娠授乳婦の骨歯の脆弱防止

*「腺病質」とは貧血などになりやすい虚弱・無力体質を指します。

【用法・用量】

年 齢	1 回 量	用 法
成人（15才以上）	3 錠	1 日 1 回服用してください。
11才以上15才未満	2 錠	
5才以上11才未満	1 錠	
5才未満	服用しないでください。	

＜用法・用量に関連する注意＞

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2)定められた用法・用量を守ってください。

【成 分】 1日量（3錠）中

ボレイ末・・・・・・・・・・ 1840mg

L-リシン塩酸塩・・・・・・・・ 120mg

ウルソデオキシコール酸・・・・・・ 10mg

添加物：結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、カルナウバロウ

【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



（必ず裏面もお読みください）

カルシウムは骨や歯にとってきわめて大切な成分ですが、日本人はカルシウムの摂取が不足していると言われています。
カルシウムの摂取が充分でないと骨のカルシウム量が減少し、骨がもろく折れやすくなります。そのため日頃から十分なカルシウムを摂取するように心がけることが大切です。妊娠・授乳期は、胎児や乳児へのカルシウム補給のためと、母親の骨や歯の脆弱防止のために、カルシウムが多く必要となりますが、食事のみでカルシウムの必要量を摂取するのはなかなか難しく、不足分をカルシウム剤などで補給することが必要です。



カルシウムの食事摂取基準 (mg / 日)

性 別 年 齢	男 性			女 性		
	推定平均 必要量	推奨量	耐容 上限量	推定平均 必要量	推奨量	耐容 上限量
6～7才	500	600	—	450	550	—
8～9才	550	650	—	600	750	—
10～11才	600	700	—	600	700	—
12～14才	800	1,000	—	650	800	—
15～17才	650	800	—	550	650	—
18～29才	650	800	2,300	550	650	2,300
30～49才	550	650	2,300	550	650	2,300
50～69才	600	700	2,300	550	650	2,300
70才以上	600	700	2,300	500	600	2,300
妊婦 (付加量) 授乳婦 (付加量)				+ 0	+ 0	—
				+ 0	+ 0	—

※17才以下の耐容上限量は十分な報告がないため定めていない。
（「日本人の食事摂取基準（2010年版）」より抜粋・改編）

- 推定平均必要量：
ある性・年齢階級に属する50%の人が必要量を満たすと推定される1日の摂取量。
- 推奨量：
ある性・年齢階級に属するほとんど（97～98％）の人において1日の必要量を満たすと推定される1日の摂取量。
- 耐容上限量：
ある性・年齢階級に属するほとんどすべての人々が、健康障害をもたらす危険がないとみなされる習慣的な摂取量の上限を与える量。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。
ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室 電話 03-3661-2080
〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
受付時間 9:00～17:50（土・日・祝日を除く）

ホームページ <http://www.zeria.co.jp>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)



製造販売元
ゼリア新薬工業株式会社
東京都中央区日本橋小舟町10-11